

## 平成24年度 第3回岩見沢市中心市街地活性化協議会報告

◆日時 平成24年9月20日(木) 15:00～16:20

◆場所 岩見沢商工会議所 第1会議室

◆出席者 協議会会員 出席 13会員 欠席 7会員  
出席者数 35名

### ◆協議事項

(1) 平成24年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業申請について

### ◆報告事項

(1) 協議会における個別事業の審査結果について

(2) 岩見沢市における事業の審査結果について

(3) 外部専門家委員会報告について

(4) 中心市街地活性化セミナー開催について

「まちゼミ」セミナー～まちなか回遊を促す仕掛けを考える

(5) 平成24年度委託事業について

(6) その他

であえーる岩見沢入込状況

### ◆議事概要

○平成24年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業申請プレゼンテーション

C-33 ガーデニングロード&低炭素プロジェクト 岩見沢商工会議所青年部  
総事業費 3,584,000円

ガーデニング・ロードは、中心市街地を花で飾り来街者を迎える事業。プランターに花を植栽し定期的にプランターの設置場所（岩見沢駅よりであえーる岩見沢までの区間）を変えることにより歩行者の回遊性を高める

グリーンランドスキー場にひまわりを15,000本植栽し二酸化炭素の削減や、採取した種と家庭での使用済み油（廃油）を利用したエコキャンドルやエコ石鹸を製作し、ドカ雪祭りにおいてエコ石鹸の無料配布、及びエコキャンドルの灯りを点すキャンドルナイトを開催し子供から大人まで幅広く関わりの持てる事業を実施する。低炭素プロジェクトでは、ガーデニング・ロードと同じコースにエコキャンドルの灯りを点し、2つの事業の一体感を創出する。

C-34 岩見沢中心市街地7条マンション新築工事計画 菱沼彰彦氏  
総事業費 81,960,000円

今回の大雪により倒壊した店舗を解体した跡を空き地としないため、また中心市街地の居住者人口の増加を目的とし、7条西3丁目に3LDK6戸の家族向け賃貸住宅の整備を行う。入居者については、賃貸借契約において町内会に加入することを義務付ける。また、ゴミ対策としては、賃貸住宅でのルールを作成する予定。

- 平成24年度第3回岩見沢市中心市街地活性化事業審査スケジュール
  - 9月20日(木) 協議会でプレゼンテーション
  - 9月21日(金)～9月25日(火) 質問事項の受付
  - 9月28日(金)まで 質問事項への回答
  - 10月3日(水) 審査得点票の回収締切日

◆報告概要

- 協議会における個別事業の審査結果

C-32 岩見沢子育てサポーターズまZ Aらぼ 70.5点

- 岩見沢市における事業の審査結果

事業名	C-32 岩見沢子育てサポーターズまZ Aらぼ		
事業者名	岩見沢子育てサポーターズまZ Aらぼ		
<b>【評価】</b>			
協議会の評価は70.5点と一定の評価を受け、協議会の構成員からは、であえーる岩見沢にある教育委員会やひなたっ子といった施設との相乗効果や、今まで中心市街地に足を運ぶ機会が少なかった子育て世代が中心市街地を回遊し、中心市街地の賑わいの創出や基本計画の数値目標に寄与することから、支援する。			
<b>【補助予定額】</b>			
要望額	600千円	補助予定額	582千円
<b>【付帯条件】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書の各科目根拠を提出すること。</li> <li>・それぞれの事業内容及びスケジュールを具体的に提出すること。</li> <li>・パスポートを利用拡大するための具体的な計画を提出すること。</li> <li>・アンケートの実施など、それぞれの事業効果を把握すること。</li> <li>・今後、どのように自己資金を確保していくかについて提出すること。</li> <li>・会員数やイベント動員数の目標数値の根拠について提出すること。</li> <li>・「まZ aらぼ」の規約を提出すること。</li> <li>・団体として事業を実施する旨の意思決定がわかる書面（総会や理事会などの議事録）を提出すること。</li> <li>・「中心市街地活性化事業補助金の事業遂行に関する注意事項」を遵守して、補助事業を実施すること。なお、遵守していない場合には、補助金の交付決定を取り消す場合があります。</li> </ul>			

- 外部専門家委員会報告について

・岩見沢市説明

経過説明 中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョンを岩見沢市で策定し、その策定委員会から、この活性化ビジョンに基づく各種事業を遂行していくには、外部からの事業進捗状況をチェックとアドバイスができる外部専門家委員会の設置が必要であるとの提言を受け、さらに協議会からは、エリアマネージャーの評価も外部の方から必要だという意見を受けて、昨年外部専門家委員会準備会を立ち上げ準備を進めてきた。

今年度から外部専門家委員会を正式に立ち上げ、活性化ビジョンに掲げたそれぞれの事

業の進捗状況や外部専門家委員会から指導助言を受けて進めている。活性化ビジョンは、住む人を増やす、働く人を増やす、交流、歩行者等を増やすといった職住交の3つに分けて事業を展開している。住む人を増やす事業は、であえーる岩見沢の再生で、ここにはテナントなどを誘致して市民交流施設にする形です。進捗状況としては、4階に北海道総合住宅ケア事業団を誘致、まだ決まっていないが4階に50社近くのIT企業を中心に誘致活動を行っている。駅前通りに関しては1西6、4西6の地区を検討しますが、全体的に駅前ではサービス付き高齢者住宅を整備できないかを検討している。2条団地の利活用は、現在市営住宅が誰も入居していない場所で、市の建設課、中心市街地活性化推進室、エリアマネージャーでプロジェクトチームを創設して何か整備できないかを検討している。他にまちなか住情報の発信ということで調査や紹介の窓口を開設している状況である。次に交流に関する事業で、4つの事業を位置付けている。1つはであえーる岩見沢は商業施設から市民交流施設として再生する形で、交流空間を各階に設けてその利活用を図っていく。2つ目は、まちなかのイベント開催について、中心市街地活性化補助金、観光事業の補助金など事業募集し、現在はまなすアート&ミュージックや北海道教育楽器、岩見沢バーガー研究会に支援している。3つ目の魅力ある商店街形成については、中心市街地活性化事業補助金で4条通りに支援し、100円商店街他いろいろな事業を展開している。4つ目エリアマネジメントの導入によるまちなかの賑わい創出は、エリアマネージャーとしての活動に対し支援し、街全体がいろいろな繋がりを持ちながら事業展開できるように一緒になって取り組んでいる。

外部専門家委員会は、第1回目が5月30日に開催され、4月から事業に取り組んでいますが、2ヶ月間ですので今回は事業に取り組む進捗状況だけをご報告している。次回は外部専門家委員会から意見があり、1つ目に各事業については指標的なものを検討し、きちんと目標設定をする。2つ目に事業は住職交とそれぞれあるが、まちに対するストーリーみたいな繋がりをきちんとわかるよう整理した上で、どういう事業をすると波及効果が生まれるといったことを整理して第2回目の委員会を開催する。これについても次回の協議会でご報告をする。最後に外部家委員の構成員について、5名の方に委員を依頼しており、都市計画の専門家として委員長に北大の小篠先生、地域連携の視点から教育大の関先生、商業の専門家として内閣官房地域活性化伝道師の山下先生、暮らしの視点から福祉関係の専門である社団法人北海道総合研究調査会五十嵐理事長、都市交通等の専門である日本データサービス㈱の石川課長です。外部専門家委員会の評価は、協議会での報告後、市民にも市のホームページに掲載し、市民に対し毎回進捗状況を情報発信する。

#### ・ 振興いわみざわ説明

住について振興いわみざわとしては、買回り品が身の回りに無くてはならないということで、日常住むにあたって不可欠な買回り品の整備を重点的に進めている。これは、JAの生鮮品や衣料品、化粧品や薬局なども入っている。今後もビル内に空いたスペースなどもありますのでしっかりテナント誘致する中で、生活利便性を進めるということで住む方を増やすことに貢献したいと考えている。交流については、であえーるビルを中心にかなり注力しなければいけないことと考えている。であえーるビルの中には交流空

間ということで市民の方、ご商売している方が自由に使えるスペースがいくつか設けられ、また使うだけではなく休む広場としても用意している。こちらの利用は、非常に好評でいつでも休憩されている方が日常でみられるようになった。また4階には、学生が学習するスペースを設けている。空いているスペースを高校生に開放したが、夕方になったらバスや電車待ちの間、勉強している姿が見られる。またホールなどもあるので活動を進める為にいろいろな団体と連携が重要と考えている。市民に対する周知も行い現在文化連盟にご協力を仰ぎ、加盟団体1つ1つに利用を促すようなことのお知らせしている。

#### \*質問事項

中心市街地の活性化については、企業誘致が重要であると思う。狙いをつけているのはIT産業とのことですが、どのような取り組みをされているのか、見通しがあるのか。DMの送付だけではなく、企業を訪問して岩見沢市の状況を説明し、ぜひ来てほしいことを積極的に交渉をしないと効果がないと思われる。どのように考えているか伺いたい。

#### ・岩見沢市回答

道内・外の誘致候補先のIT企業など業務系企業を中心にリストアップし、DMを50社に送付している。他に札幌にIT企業が集積するNPO法人があるので、紹介を受けて企業を訪問し、説明をしている。先日も東京に行って説明してきたが、IT企業もなかなか業況が厳しい状況ということでIT企業以外の他の業種も含めて検討している。

#### ○中心市街地活性化セミナー開催について

まちゼミは、商店街のお店の店主またはスタッフが講師となり、それぞれのお店が持つ専門知識や技術を無料で紹介する小人数制のゼミのこと。まちゼミは愛知県の岡崎市が平成14年に最初に取り組み、まちの活性化に繋がっている事業で全国20地区程度が取り組んでいる。実際に商店や商店街を元気にする事業として、新規顧客の獲得、お店のファンづくり、売上アップに繋がる事業として成果を上げている。この「まちゼミ」の仕掛け人である岡崎まちゼミの会代表の松井氏に講演してもらおう。日程は10月10日(水)13:30から場所は、であえーる岩見沢で開催するので、皆様のご参加をよろしく願いたい。

#### ○平成24年度委託事業について

基本計画認定から5年経過し、これまでの協議会の活動をまとめ次期活性化協議会の実施体制を検討する為、成果評価や組織の課題等について、対象を協議会会員・事業実施者・中心市街地エリア内の商店・他市との比較等アンケート調査を中心に行う。調査結果については、次年度の方向性を検討するため、運営委員会において整理検討し、協議会に報告することを考えている。

#### ○であえーる岩見沢入込み客数調査結果の報告について

4月1日にグランドオープンしました「であえーる岩見沢」について、オープン後の入込数を8月2日の平日と8月4日土曜日の2回調査をしました。昨年もほぼ同時期に調査をしており、比較をしている。平日で4,068人、昨年が1,678人の入込で

したので約2.5倍となっている。土曜日は3,159人、昨年が1,491人と約2倍で順調に集客している。今後も毎年同じ時期で比較をしていきたい。